

(子宮頸癌や卵巣癌を合併した妊娠) に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年 2月 19日 ~ 2019年 3月 31日

〔研究課題〕

本邦における子宮頸癌ならびに卵巣癌合併妊娠の調査

〔研究目的〕

本邦における子宮頸癌および卵巣癌合併妊娠の発生頻度・治療方法・その予後を調査し、悪性腫瘍とその治療が妊娠・分娩・産褥にどのように影響したかを検討します。さらに、新生児の予後についても検討します。本研究は、本邦の周産期母子医療センターならびにがん診療連携拠点病院にて診断または治療された患者の情報を日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会が中心となって集め、解析します。

〔研究意義〕

近年、子宮頸癌や卵巣癌などの婦人科悪性腫瘍合併妊娠の頻度は増加しており、今後、重要な問題となることが予想されます。そこで、本邦での婦人科悪性腫瘍合併妊娠の症例を集積し、解析を行うことにより今後の治療に役立てることを目的に本研究が立案されました。

〔対象・研究方法〕

西暦2012年1月1日より2017年12月31日までの間に、妊娠中または産褥1年以内に子宮頸癌または卵巣癌と診断され、入院または通院し、診療を受けた方のカルテから、子宮頸癌または卵巣癌合併妊娠の診療に関する診療記録、臨床検査データ（病理診断、分娩週数、手術方法、治療方法、最終生存日など）ならびに出生時に関する診療記録（出生週数、出生時体重、性別、新生児合併症など）に関するデータを収集させていただきます。新生児も対象となっています。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部産婦人科学講座

日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会

本邦の周産期母子医療センター

本邦のがん診療連携拠点病院

研究代表者；万代昌紀（京都大学医学研究科産科学婦人科学分野）

〔個人情報の取り扱い〕

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形として、帝京大学医学部附属病院から日本産科婦人科学会に提供し、日本産科婦人科学会ホームページ上で情報登録を行います。データの通信はSSL暗号化通信で行われ、患者さんの情報は匿名化されています。また、患者さんの情報と個人情報を連結させることはなく、事務局による患者個人の特特定ができませんようになっています。

〔その他〕

患者さんの金銭的負担は一切ありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 司馬正浩 (帝京大学医学部産婦人科学講座)

住所: TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 7157 〕